

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input checked="" type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
町会・自治会(地区)	鷺宮(D-1)	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>当自治会では、高齢者の問題に対応するために、平成10年4月に『助け合いネットワーク』を立ち上げ、買い物・洗濯などの簡単な家事援助の申し出があれば対応し、また、「お楽しみ会」を月一回開き、お茶とお菓子を出す等、住民とコミュニケーションをとってきた。</p> <p>さらに、ネットワークでは、月に一度、第二火曜日に「食事会」を始め、食事の後、歓談、コーラスで童謡や唱歌を楽しんでいる。現在35名程度が参加している。</p> <p>平成23年からは、一人暮らしの高齢者を対象に第四土曜日にサロンを開き、食事会などを行っている。こちらは、男性の参加者が多く、現在50名程度である。</p> <p>対象者は生活の様子などをみて、自治会で人選して声をかけている。</p> <p>この2回の食事会では、毎回対象者にご案内を出し、欠席の場合は理由を確認している。</p> <p>その他、夜間に週一回の敷地内の見回り、防災訓練、朝7時30の分ラジオ体操、もちつき大会、バザーやクリスマスコンサートなどの自治会の行事や老人会の集会、敬老祝い金の配付時の訪問などを通じて高齢者の見守りを続けている。</p> <p>見守り支えあい名簿は、心配な高齢者を把握するために活用し、このような自治会の活動へ参加するよう積極的に声をかけている。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>高齢者が多い団地で、過去には悲惨な孤立死が多く発生している。しかし、こういった自治会の活動を続けていくうちに、参加する高齢者が増え、活動を手伝ってくれるボランティアの団地住民も増えている。そして、他の要望もあるかも知れないが、孤立死は少なくなっている。</p> <p>今は、何かあると自治会に連絡がくるので、民生委員と一緒に対応している。</p> <p>心配なのは、なかなか自治会の行事に出てきてくれない方で、今のところ近隣の方たちや民生委員などに気にかけてもらっている。</p> <p>また、何かあった時の親族への緊急連絡先が分からない人がいるのも困っている。</p> <p>自治会・民生委員・近隣の人と協力しても解決できない認知症、精神障害のある方などの事例は、地域包括支援センター、すこやか福祉センターに協力を得て解決に向かい、心強く思っている。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域(町会)	鷺宮(D-2)	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>当町会は、平成23年度の第1回見守り対象者名簿の提供を希望された21の町会・自治会のうちの一つである。従前より防犯、防災、交通安全、募金等の活動の他、地区まつり、地域のスポーツ大会、行政の主催事業等への協力を担っている。</p> <p>町会内の名簿登載者は約130人である。名簿については次のように活用している。</p> <p>巡回による見守り活動は役員の高齢化に伴い、名簿登載者全員を対象とすることは物理的に困難なため、比較的元気な方を除き、見守り活動の必要性が高いところから実施するという視点で見守り対象者を絞り込んでいる。通常、町会では地域を37の班で編成されているが、見守り活動については、この班とは別に近在役員に見守り対象者を割り振った体制をとっている。それぞれの担当役員は巡回とは別に、日常から買物やその他の外出時に対象者宅の電灯、洗濯物などをチェックしながら見守り活動を実施している。</p> <p>さらに、9月に敬老祝品を70歳以上の会員に贈呈し、12月には餅を一人暮らしの高齢者に配布している。</p> <p>また、毎月1回、防犯パトロールに伴い外部からの異変確認を実施し、歳末夜間特別防火防災パトロールを年末に5日間実施している。</p> <p>他には随時班長を通じて会員に必要な情報を文書で回覧し、同時に回覧版授受の際に安否確認を実施している。</p> <p>社会福祉協議会募金活動に伴う会員宅への訪問活動を実施している。</p>			
<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の見守り活動の実施により、きめの細かい活動が可能になる。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会活動の担い手が高齢化していくなかで、若い人材の確保が急務の課題である。 			

<p>支えあい活動内容 (分類)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/>安否確認・声かけ <input type="checkbox"/>イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/>町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/>地域情報の把握 <input type="checkbox"/>困りごと相談 <input type="checkbox"/>その他 </p>		
<p>圏域（町会）</p>	<p>鷺宮（D-3）</p>	<p>見守り支えあい名簿の提供</p>	<p>有</p>
<p>《活動内容》</p> <p>見守り対象者名簿は、平成24年2月に手上げた。私が所属する町会は、約350世帯と地区のなかでも一番世帯数が少なく、名簿登載者も30数名を数えるにすぎない。中野区のなかでもおそらく最小世帯数の町会に属するのかもしれない。その意味では私たちがやっていることは、他の大きな町会の支えあい活動の参考には、あまりならないかもしれない。</p> <p>毎年の名簿更新時には、一応、再確認はするが、登載者はほぼ会長の頭の中にはいつているつもりである。今のところ、その登載者を例えば地図に落とし込んで別資料を作成するというような必要性は感じてない。</p> <p>防犯パトロールは、毎週1回行っている。その際、名簿登録者のデータは参考にはしているが、障害者を除く高齢者情報に限っていえば、名簿から得られる新たな情報は特にないと感じている。この他の支えあい活動としては、敬老祝品の配布時の安否確認（年1回）や防災訓練を周知する際の安否確認（随時）などを行っている。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>当地区は、比較的昔の面影を残すところかもしれないが、東京という非常に変化の激しい大都市の一地域であることに変わりはない。当地区といえども、目と耳の支えあい活動だけではどうにもならなくなる時が、そう遠くない将来に訪れるような気がしてならない。今は、室内に設置された機械による所在確認などもできるようになってきていると聞く。区も人手だけを当てにするのではなく、お金はかかるのであろうが、たとえば一人暮らしの方の室内での所在確認のために、時によっては機械の力も大いに利用するというような、そのあたりのことも視野に入れておくべき時代が、確実に来ているように思う。</p> <p>少し話はずれるが、私どものような小さな町会は、その分だけ動ける人も少ないので、何をするにしても実際は極少数の者に大きな負担がかかることになる。皆さんが言っていることですが、やるべきことは町会・自治会の大小にかかわらずほとんど同じだから、それらをさばくだけでも実は大変苦勞している。せめて区だけでも、少しでも町会・自治会が効率的に動けるようにするために、出される通知を各部署バラバラに出すのではなく、役所のなかで通知する日をできるだけ決めて、まとめて出す工夫を是非とも考え出してほしい。それだけでも随分、助かる。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域(町会)	鷺宮(D-4)	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>当町会は、約1,800世帯のうち1,200世帯が集合住宅で、600世帯が一軒家という構成になっている。目配りがきく世帯数という点で、ちょうどいい規模だと思っている。</p> <p>町会では、平成22年に業者と協力し、希望する120世帯に有料で住宅用火災警報器の設置作業をした。その際、高齢者がいる多くの世帯から、「身の回りの細々したことへの生活支援がほしい」という声が寄せられた。このときから、町会の大きな役割の一つとして“身の回りの生活支援”が非常に重要であると考えられるようになった。現在は、総合防災訓練をきっかけに、会員へ防災グッズの無料配布を考えている。</p> <p>見守り対象者名簿は、平成24年2月に希望した。高齢者がしっかりとデータ化されているため、何かと重宝している。防犯パトロールだけでなく、敬老祝品を配布するためにも利用している。</p> <p>名簿は、区民活動センターに保管してあり、年に数回閲覧するだけである。普段は、名簿登載者全員を色分け・記号化して住宅地図に落とし込んだものを使用している。町会長は、定期的に地図を見て、一人ひとりの顔を思い浮かべている。対象者が町会員かどうかは、特に意識していない。町を歩くなかで気付いたことや皆さんからの情報は、町会の役員会等で伝え、防犯パトロール等に反映していく。</p> <p>町会にいる民生・児童委員3名は、名簿閲覧者に登録している。この方達とは、個人情報に触れない範囲でよく情報交換をしている。見守り活動をしていくうえで、本当に助けられている。</p> <p>今後も、様々な生活支援をおこなっていきななかで、この名簿の活用を模索していきたいと考えている。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>当地区は、良くも悪くも昔ながらの姿を残す地域だが、東京という人口移動の激しい都市の例にもれず、転出入される方が少なくない。将来的には、人の入れ替わりがもっと激しくなるだろう。このことから、町会もできるだけしっかりとしたデータに基づいて活動していく必要があると考えている。</p> <p>見守り対象者名簿は、高齢者の構成を知るうえで、基礎データとなるものである。これから、住民がますます高齢化していきななかで、工夫次第で様々な活用ができると思う。しかし、町会員の多くが問題を共有し、一緒に動くというのは、簡単なことではない。</p> <p>町会長が率先して名簿の活用方法を模索しながら事にあたっていくことができれば、前に進んでいく、ということだろうと考えている。</p> <p>名簿に載っている方のなかには、障害をお持ちの方もいるが、現状はその方の住所を確認する程度で済ませている。どのような障害があるのか判らない方もいる。町会として、これ以上の踏み込んだ対応がとれるかは難しい問題であり、これからの課題と感じている。</p>			

<p>支えあい活動内容 (分類)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/>安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/>イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/>町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/>地域情報の把握 <input type="checkbox"/>困りごと相談 <input type="checkbox"/>その他 </p>		
<p>圏域 (町会)</p>	<p>鷺宮 (D-5)</p>	<p>見守り支えあい名簿の提供</p>	<p>有</p>
<p>《活動内容》</p> <p>当町会では、町会員や地域の方々がお互いに交流し、絆を深める場と機会を積極的に提供している。町会会館を活用し、いろいろな催しを企画して高齢者を始めとした地域の方々が顔を合わせる機会をつくっている。</p> <p>音楽会、落語会、まちなかサロン (高齢者)、ふれあいママサロン (子育て中の若いママ)、映画会 (子ども向け、大人向け)、コミュニティスクール、外国人との交流料理教室、ミニ四駆サーキットなどの催しを行っている。</p> <p>外に出ない高齢者にも出かけてくるように働きかけを行い、顔見知りになり、あいさつを交わし、声をかけあい、支えあいの意識が高まればと思っている。</p> <p>その他、防犯パトロールの際に外部からの異変確認を月6回、敬老祝い品贈呈のための高齢者調査と祝い品配布を年1回、募金や町会費徴収のために各戸を訪問する際に高齢者等の見守りを行っている。</p> <p>「見守り支えあい名簿」は、このような町会の見守り活動の対象者の把握に活用している。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>町会内に町会会館での催しが浸透し、段々と参加者が増えてきている。</p> <p>毎回出てきてくれる人同士は顔見知りになり、来ていない人の様子を気にするようになってきている。</p> <p>サロンを通じて輪が広がり、お互いに挨拶ができるまちになれば、自然とまわりの人のことを気にすることができるようになってきている。</p> <p>マンション、アパートの表札がない家や、オートロックマンションで建物の中に入れない家などがあり、名前を知らなくてはコミュニケーションの取りようがないのが現状である。</p> <p>町会だけでなく、行政、警察、ライフラインの事業者、不動産屋などが協力してまちを見守っていくことが必要ではないか。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域（町会）	鷺宮（D-6）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>当町会では、80歳以上の町会員の敬老祝い品の贈呈の際に、町内を6つに分け、担当役員が訪問し、できる限り本人とお会いしている。</p> <p>本人または家族から、健康状態や生活の様子などをお聞きして、その結果を個人の状況により分類してリスト化している。そのリストには、町会内の見守り対象者、災害時救援希望者も併せて載せている。</p> <p>その他、民生委員も出席している月1回の役員会での情報交換、防犯パトロール時に外観からの異常発見（ポストへの郵便物滞留、雨戸の閉め切り等）を月3回、年1回の町会費や各種募金の集金の機会を利用しての安否確認などを行っている。</p> <p>当町会では、近所同士での挨拶・声かけによる支えあい意識の向上を目指して様々な活動を行っている。</p> <p>「見守り支えあい名簿」はこれらの対象者を確認する際に活用している。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>実際に対象者や家族に会うことで日常生活の様子がわかり、見守り活動がしやすくなった。また、活動してくれる町会員にも日常から気を配る意識がでてきている。</p> <p>オートロックマンションなど外観からでは異常発見ができない建物への対応が困難であるので、マンションの理事会などが見守り活動に協力してもらえたらと感じている。</p> <p>今のところ異常発見の例はないが（ない方が良いでしょう）、今後とも活動を継続することが大事であると考えている。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他 ()		
圏域(町会)	鷺宮(D-7)	見守り支えあい名簿の提供	有
《活動内容》 当町会は、毎週水曜日（1週目・3週目は午後2時より、2週目・4週目は午前10時より）に防犯・防災パトロールと併行して見守りパトロールを実施している。 主として「郵便受け」に郵便物が詰まっていないかをチェックし、パトロールをしたお宅には巡回したことが見守り対象者に分かるよう巡回確認スリップ（お知らせ）を郵便受けに投函している。 パトロールの見守り対象者は、名簿上の対象者約120名のうち、同一家屋内もしくは同一敷地内に親族のいる対象者を除外した70名弱である。 対象者宅をマップに落とし、対象者宅すべてをパトロールできるような「見守りルート」を東西2ルートに設定し、パトロールをしている。 緊急時や災害時などに地域の状況（人）がわかるようパトロールのメンバーは固定せず、当日参加したメンバーでルートを分けて実施している。 その他、敬老祝い品など配付する際に訪問し、出来るだけ会って話をし様子を確認している。			
《成果・課題等》 見守り対象の方からお礼を言われることもあり、少しずつではあるが見守り活動が浸透してきている感じがする。 個人情報保護ということはあるが、地域状況を把握するため民生委員などと連携した活動も必要である。 地域のさまざまな課題の解決のため、町会活動の活性化に向け、町会への加入促進が課題である。			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他 ()		
圏域(町会)	鷺宮(D-8)	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>自治会独自の名簿を作り、民生委員と協力して見守り活動を行っている。</p> <p>団地内を7支部にわけ、各支部の役員が見守りの必要な世帯(一人暮らしの高齢者等)の洗濯物や玄関先の様子、集合ポスト、湯沸かし器の音などに気をつけている。</p> <p>外出したときに対象者に会ったら、声をかけ、少しでも話をしてもらい、気になることがあったら自治会本部に連絡してもらっている。</p> <p>また、民生委員と協力して、心配な家には普段はポストにいれるお知らせを手渡しで行っている。その際に部屋の様子見るなど、体調や困っている事を確認している。</p> <p>「こまりごとノート」を作って自治会役員間等で情報を共有している。</p> <p>さらに、団地全体の住人に「向こう三軒両隣」を気にかけて、「あいさつ」等をお願いしている。</p> <p>このほかにも、自治会のイベントでは、例えば、餅つきの際に、餅のほかに豚汁を作ったり、なるべく多くの方に参加してもらえるよう工夫をしている。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>「向こう三軒両隣」「あいさつ」をお願いするようになって、住人間でコミュニケーションが取られるようになってきた。</p> <p>子育て世代と高齢者の間では、高齢者が子育てについて母親からの相談にのったり、子どもを一時預かったりということがあり、母親にとっては子育てを助けられ、また、高齢者の様子を確認できるということで良い関係が生まれてきている。</p> <p>高齢のため、家の中に引きこもっている人について、打ち解けて話をできるようにする事が課題である。</p> <p>一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯数が多く、規模のとても大きい団地なので、活動してくれる人を確保することが大変である。</p> <p>イベント等にも若い世代の参加が増えてきている。今後、子どもと高齢者とがふれ合えるような地域、顔見知りになり、あいさつがとびかう地域になればいいと考えている。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	■外部からの異変発見活動 ■安否確認・声かけ ■イベントの実施 ■町会活動を利用した活動 □地域情報の把握 □困りごと相談 □その他 ()		
圏域 (町会)	鷺宮 (D-9)	見守り支えあい名簿の提供	有
《活動内容》 ○防犯パトロール 当自治会では、防犯活動に伴うパトロールの際に、見守り支えあい名簿を活用しながら外部からの異変確認を行っている。 白昼でも電気が点いていないか、新聞などがポストにたまっていないか、長期間雨戸が閉まったままではないかなど、注意してパトロールをしている。 また4月に春のパトロールを行うが、その時にも高齢者の見守りを実施し、元気で生活されているかなどを確認している。 ○敬老祝い品配布時の人数・安否確認 毎年6月に敬老祝い品を配布する際、該当者の人数や安否の確認を行っている。 安否が不明な場合は聞ける範囲で近隣住民に話を伺い、孤独死の防止等に努めている。			
《成果・課題等》 ○これまでよりも見守り支えあい名簿を活用し、効果的に見守り活動を行う方法を検討していきたい。 ○現在、当自治会のエリアに防犯カメラを設置している。平成24年度に2台、平成25年度に6台、平成26年度に3台設置し、合計11台となった。これらのカメラを設置したことで防犯力が向上し、警察の捜査にも協力できている。また認知症などで徘徊をされてしまう高齢者の捜索にも役立つものと考ええる。 ○支えあい活動を含め、自治会の活動を行っていただける方を増やしていくことが大きな課題である。			

支えあい活動内容 (分類)	<input type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他 ()		
圏域(町会)	鷺宮(D-10)	見守り支えあい名簿の提供	無
《活動内容》 当自治会は、約94世帯で構成された集合住宅である。そのうち70歳以上の高齢者世帯が約8割を占めている。 各階から選出した理事に、日頃の自治会活動の中心的役割を担ってもらっている。 主な見守り・支えあい活動は次のとおりである。 ・日頃は、郵便受けに新聞等がたまっているなどの場合には安否確認のための声かけ、または電話をかけるようにしている。 ・70歳以上の高齢者を対象に、理事が敬老祝品を対象者本人に直接配付し、安否確認をおこなっている。 ・回覧版を理事が回し、各世帯が回覧済であることを必ず確認している。 ・月に1回、年末にはさらに2回、各階の住人ごとにグループを作り、廊下、階段、庭、自転車置き場の清掃を割振って実施している。			
《成果・課題等》 【主な成果等】 安否確認の声かけ、清掃等の支えあい活動を通じて、多くの人がお互いに顔見知りとなってきている。 近年、住民が高齢化する一方で、外国人の若い家族世帯の入居が年々増してきている。 外国人世帯の親が仕事等で不在中に、同じ階の高齢者がその子ども(小学生以下)の面倒をみるなどの交流が芽生え始めている。 【課題等】 以前はお正月に集会室で食事会を実施していたが、現在は休止している。 高齢化により食事会を復活する担い手の不足が課題である。			